

2022年度 事業計画書
2022年4月1日から2023年3月31日まで

Ⅰ 事業計画の方針

生徒数の増加に伴って、同じ環境での生徒の受け入れの限界も見え始めている中、2021年度は、募金キャンペーンの実施によって、新たに教室を設けて「フリースクール小学部」を開設するための資金調達に成功しました。

入居ビルの老朽化も踏まえ、引き続き「より多くの生徒を受け入れ、充実した活動ができる環境へ移転」を中期的な重要課題です。

2022年度も「より多くの子ども達を充実した支援につなげるための体制強化」をテーマに3つの重点項目に取り組みます。

1つ目は、「コロナ禍でも充実した生徒の活動の再構築」です。

具体的には

- ①新設する小学部の日常サイクルを確立し、安定して子ども達が登校する状況を早期に作る。
 - ②中学生・高校生の入会率および登校率の向上のための、教室環境の改善や特別企画の実施
 - ③宿泊型の修学旅行の検討と可能な形での実施
- に取り組みます。

2つ目は、「組織基盤強化のためのコンサルティングの実施」です。

民間フリースクールとしての社会的信用の拡大していくために、社会課題解決のための成長戦略、ロジックモデルの再構築に取り組みます。

3つ目は、「新しい拠点の新設のための助成金獲得」

また、新しい動きとして、新しい支援拠点を新設するための、金額の大きい助成金の獲得に向けて、プロボノなどの支援を受けながら、申請書のブラッシュアップに取り組みます。

また、教育支援事業では、新型コロナウイルスの対応として、昨年度に引き続き教育セミナーのオンライン化を推し進め、リアルとオンラインを使い分けながら実施していきます。

保護者の皆様にご利用いただいた茶話会も、感染予防対策を行いながら、毎月の定期開催を継続していきます。

2 事業実施に関する事項

【特定非営利活動に係る事業】

定款の事業名	事業内容	実施日	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	支出額(千円)
総合教育事業	基礎学力サポートコース (小・中学生の不登校生等への学習等の支援)	通年	盛岡市	13人	17名	16,384
	通信制高校サポートコース	通年	盛岡市 矢巾町	13人	22名	
	高卒認定合格サポートコース	通年	盛岡市	13人	2名	
	進路サポートコース	通年	盛岡市	13人	5名	
相談事業	電話による相談	通年	盛岡市	2人	50名	0
	面談による相談	通年	盛岡市	2人	150名 (100件)	
教育支援事業	不登校セミナー	5日	盛岡市	6人	100名	300
	保護者対象茶話会	12日	盛岡市	6人	48名	